

SC-NMRライセンス試験における確認項目

300MHz、400MHz NMR

・練習時に測定したチャート 3 枚をチェックいたしますので各自ご持参ください

試験では自己測定が可能であることを確認したいと思いますので、基本的にはスムーズに測定ができ、測定後は次の測定者のために原状復帰が出来ることを示す必要があります。

1. 入室時の確認事項（酸素濃度が 18%以上であることと、マグネットが設置してある測定室内の温度が 25°C 以下であることを確認）
2. スピナーの取扱いとサンプル高さ調整、マグネットへのセッティング
3. 溶媒選択と Z0 設定の確認（ロックシグナルの確認）
4. 磁場校正（グラジエントシムで行う）
5. プロトンパルスシーケンスの読み込みとパラメータ設定（積算回数、ブロックサイズ、オートゲイン）の確認
6. 「ADC overflow」が表示された場合の原因と対処方法の確認
7. データ処理、印刷とデータ保存
8. 原状復帰の操作確認
9. トラブルが起きた際の対応方法の確認

600MHz NMR

・練習時に測定したチャート 3 枚をチェックいたしますので各自ご持参ください。

・基本的には300MHz、400MHz NMRと同様な内容で試験を行います。ロック、Z0、磁場校正を理解している必要があります。

・600MHz NMRは自動チューニングユニットを備えており、溶媒と測定温度にあわせてチューニングをあわせることが出来ます。チューニングの合わせ方を理解している必要があります。

トラブル発生時の対応

平日 8:30–17:00

指導教員→分析計測分野→学部監守者→他学部監守者

平日 17:00–8:30 および土日祭日

指導教員→学部監守者→他学部監守者

を重視して下さい

平成 30 年度 SC-NMR 室監守者

分析計測分野：中上陽子・川上真以（8736）砂月幸成（7833）

理学部：岡本秀毅（7840）、高村浩由（7839）、岩崎真之（8964）

工学部：光藤耕一（8082）、早川一郎（8210）、前田千尋（8092）

農学部：仁戸田照彦（8291）、泉 実（8294）

薬学部：谷口抄子（7998）、西岡弘美（7965）、中井啓陽（7932）

環境理工学部：田嶋智之（8898）